常磐毎日
発行所　平市田町75番地
常磐毎日新聞社
電話代表　2104—2105番

東京堂のチョコまん
平市大馬場
電話番号
支店
四六〇五
八九〇四

観光地の充実化へ

施設費に四百万を支出

観協

平観光協会の第六回総会は八日二後一時から平市公会堂日本間で開き、三十五年度事務報告、収支決算報告のあと新年度事業計画、予算などを協議、原案通り可決した。予算は四百十八万円、臨時沿岸などに魚釣場施設として十万円、新鮮子に塩水プール施設二十万円などが計上されている。行事では常磐地区観光連盟とタイアップして常磐地区はもとより北茨城市、田村郡、双葉郡開発の促進を図ることを主要事業として取り上げられているほか、厚生保健施設の整備こしらえ❶平地区観光ホテル建設❷水石山地区内に国民宿舎建設❸塩水プール設置❹磯海岸、夏井川にボート場設置などを促進してレジャーの有意義な活用に乗り出すことになっている。事業は次のとおり。▼観光協会の普及＝正しい観光のあり方普及　▼観光地区産業観光＝調査研究、新しい観光地の開発▼観光事業の民衆化▼観光施設の整備拡充▼観光事業の民衆化▼観光施設の整備協力▼サービス改善＝接客業者にサービス改善指導▼土産品の改善▼常磐地区観光＝調査研究、新しい観光地の開発❷ポスター、絵葉書、写真作成❸学生向き産業、観光宣伝用リーフレット作成▼道行事の実施＝❶キャラバン隊、土産品、物産展の共同主催❷ゆきの観光展、行楽相談所の設置❸観光都市実現運動❹ミス七夕コンテント❺春、夏まつり、文化祭の協賛。

いちご出荷期迫る

地元素通り東京都へ

平市特産「いちご」の共同出荷が、六月一日から二十日まで各農協単位に行われる。いちごの品種は一万一千六百二キロでことしは昨年の五月末（七十名）で卒業新しい職場に移るが、訓練生はだんだん減って行くため関係機関を通じて広く募集することになったもの。現在の申し込み件数五十件の中には元選炭婦をしていた婦人が二名も含まれており、女子の申し込み者は今度がはじめてである。募集要項は塗装、板金、酒販印刷左官はそれぞれ二十五名（昼、夜間）で配管工は二十名となっており、今度の締切りは五月三十一日訓練期間は六カ月、訓練内容は金属、非金属製品、建造物などの塗装、板金機械及び器工具による金属薄板の加工及び組立における技能、文選、植字、鋳版、校正窓替え及び印刷、製本の技能、直製、モルタル、プラスター、しつくい人造石等の施行における技能、金属、非金属管の加工、接合装置などに必要な技能の訓練である。入所資格は❶炭鉱離職者または離職者の収入で生計を維持しており、またはしていたもの。入所手続は❶炭鉱離職者授産会平支部同高萩支所、各公共職業安定所、または福島総合職業訓練所内郷分所あて請求する❷自筆履歴書❸勤務証明書❹建康診断書で炭鉱離職者で所定の要件を具えている者には所定の訓練手当が支給されることになっているほか就業保険の受給中であっても安定所の指示によって入所した者は、訓練期間中に失業保険期間が満了した場合、または支給終了になった場合でも訓練終了まで引続き保険金を受給できる。その他訓練修了者は公共職業安定所が就職あっせん、訓れんに要する授業料、実習費は無料であるまた女子でも体強健であれば訓れん生になることができるのでどしどし申し込むよう当局では期待している。

女性も歓迎します

内郷の職業訓練所　少ない入所者に対処

福島総合職業訓練所内郷分所では第四期炭鉱離職者職業訓練生を募集しているが、申し込み希望者は八日現在五十人しかなく定員の百二十人に満たないため、婦人を対象に広く募集運動を起すことになった。

内郷市つつら町鍋坂に昨年建設された職業訓練所は炭鉱離職者が炭鉱労働者以外の職業に就かれる場合、その就職が容易にできるようその職業に必要な技能を習得させるためにあるもので、すでに第一期生は所定の技術を身につけて新しい職場に移っており、業界からも好評を得ている。第二期生もこ

問題の小学生一座

バレー公演で入場料とる

小遣い銭ほしい余りに、友人数人、まったのは二十人余だった。バレーを演じ、入場料をとって観賞させ、「売り上げ金でゞゼイタク〟な昼食をとる」という悪質な大人もどきのガメツサで興業？をやってのけた小学六年生の女性徒がおり、地元の父兄の気持をゆさぶるという話しが勿来市内にある。去る三十日勿来市内の小学六年の女性徒数人は学校の教室でバレーを観せるから希望者は五円を持って来るよう近所の子供たちに宣伝した。低学年の生徒は家から五円をねだってもらい、講堂に好奇心の五倍の人数が集まったが、入場者は五円の「バタクン」（菓子）を五人に一本とキャラメル二粒ほどを分配したものだったが売り上げ金はまだ残っている。

バレーの会場となった主催者数人は、この舞台条件は申し分がない。主催者は各バレーに必要なレコードと蓄音器を用意した。正ごろ木戸は開いて切符売場は二十人余りの子供でにぎわった。古くなった収入印紙を入場券として発行世間なみの入場方法だった。

カメラは田中

平市の人口動態

転出でちょっと減る

平市五月一日現在の人口がまとまった。一万五千百九十五世帯、七万六百二十七人で前月より百十一人減った。男女別では男が三万三千八百八十四人で転入三百二十二死亡十五人となっている。

人、転出四百五十七人、出生六十四人、死亡十九人、女は三万六千七百四十三人で転入三百六人、転出三百五十七人、出生四十五人、死亡十五人となっている。

海外視察ばやり

県議や木村代議士も

浜通りからの海外視察が目立って増えてきた。木村代議士が参議員当時一度外遊しているし、本年六月ごろは衆議員として一度の外遊が内定している。▼▼鈴木四倉町長は昨年十一月に水産国際会議に出席、北洋、南太平洋とともに世界の三大漁場である、北欧の漁業を視察したことは沿岸漁場から遠洋漁業への飛躍に並するものがある。▼▼きたる十三日は県議団の一行が、海外視察の旅へ、その中に浜通りから松本光信、下山田勇、二県議が加わっている、この両人何れも経済的には海外視察など思いもよらぬことで、再三辞退をしていたのだが、この二人のみでなく議員の旅費の全額負担以外はみな、半額自己負担と決まって洋行の夢は霧散して尻込みとなったもの。▼▼そん友関係で六人チの回った松本、下山田氏には鈴木（登）氏も欧米視察の途に、氏は本県木材事業家として自他共にみとめられる実力者でもあり、視察推せんの一人、機業町の石川浅次郎氏に絶対協助に東奔西走した印象があってから両氏の壮行会が盛況裡に行われたし、航空旅費の七十五万円も自腹がついたようだ▼▼海外同邦へのお土産や何やと雑費のやりくりに頭をいためているが、かえりの土産だけは現物でなくて、農業基本法も通過して農民の所得倍増への国のるや、どうしてどうして住宅施策にあてはまる海外のスマヤゲだけは忘れないことを願っておく。▼▼六月には中央林業指導所の主催で、機業町の石川浅次郎氏が約束視察の途に、氏は本県木材事業家として自他共にみとめられる実力者でもあり、視察推せんの一人、機業町の石川浅次郎氏も欧米

（第三種郵便物認可）定価一カ月100円・一部5円

ぼくの家のにわとり

小川小　鹿田　正寛

この間の日曜日に、ぼくはおとうさんと、こんべのおじさんのところに、にわとりをかいに行きました。大きさは、はとくらいで、生まれてから六カ月以上たつている。ぼくがいつたら、「コツ、コツ」とないていた。その時は、おじさんがいなかつたので、にわとりは、もらつてこられなかつた。その家のおばさんが、「あした、家の人にもたせてやります」、といつたので、家にかえつた。

あくる日の朝、こんべのおじさんが、十羽のにわとりをみん箱に入れてもつてきてくれた。それを、一週間ばかりまえに作つておいた鳥小屋に入れました。おとうさんが、ぼくに、「まきひろは、にわとりのせわができるか」といつたら、ぼくは家畜類がすきなので、「うん、できるよ」といつた。

このにわとりは、あと五カ月くらいすると、卵をうむようになる。その日の夕方、精米所からにわとりのえさにするはい合がとどいた。ぼくはさっそく、それを大きいカンにあけて、手で大きく二回くらいすくつて、えさ箱に入れた。

おかあさんが、白米の切つた残りを持つて来て、「これも混ぜてえさに入れてやりなさい」といつたので、ぼくは、はい合と白米のくずを、棒でかき混ぜて、えさに入れた。ききに入れた物と混ぜてたべさせんハれた。すると、にわとりは、はじめ、こわがつて、えさ箱によつてこなかつた。

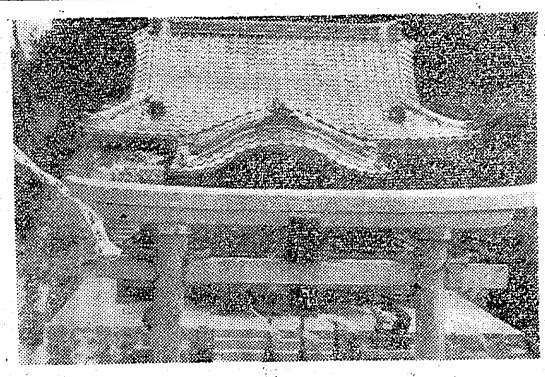
すこしたつてから、ちちよちよおつかなびつくりよつてきてうまいんだが、うまくないんだが、わかんないようなたべ方だつた。

きょうは、雨がふつていたので、えさをやるのが、いやになつてきたが、にわとりが小屋で、にわとりがないているので、「はらへつているのだなあ」と思つて、こうもりをきして、鳥小屋に走つていつた。えさをやる時、こうもりをきしているからなかなかうまくいかない。ぼくは、めんどうくさいから、こうもりをたたんで、そばの木にかけてえさをやつた。水はあまさいからへんで来て入れた。にわとりはよろこんで、我さきにとえさをたべている。

このごろは、寒いので、おとうさんがやる時もある。おとうさんがやる時もある。おとうさんが病気になつたのでおばあさんが、おばあさんはやれない。それで、夕方には、おばあさんの分も混ぜて、普通より多くやつている。ぼくは家のにわとりが、早く卵をうむ日を待つている。

完納の16組合表彰

あす石城の納組長会



県石城事務所では十日午後一時から固所会議室で納税貯蓄組合長会議を開き、三十二年度以降三カ年間完納を続けた十六組合、三十五年度に適正な申告により完納した特別徴収義務者十三人、納税協力者三人、納税功労者一人に感謝状を贈る。また席上で県民税の優良納税市町村として平市、納税功労者として大谷伝長氏（平市南町）に県知事感謝の伝達もある。県石城事務所長感謝状授与者は次のとおり。

優良納税貯蓄組合長＝平市＝紺屋町、土橋（組合長鈴木藏大）二丁目一組（大平徳兵衛）七丁目協力会（鈴木福男）二丁目宝蔵会（鈴木左右）田町白馬会（梁谷通一）鎌田其部（高田潤一）田町並木通り（島福菊五郎）鍛冶町（会川真雄）▽常磐市＝八仙一組（熊田徳次）表町第四（白石初太郎）本町第一（小野英英一郎）▽磐城＝磐城製菓製パン（馬目久雄）小名浜飲食店会（梁木治作）▽勿来市＝公和丹野四郎）鶴好（金成伍郎）不二（安島利枝）特別徴収義務者▽遊興飲食関係＝平市田町金手毬助、常磐市二園鈴木康平、磐城市花畑小野富栄、平市田町会川キミ、同市旧城跡鈴木孝子、勿来市植田下山田豊一、常磐市笠井小井戸ますよ、内郷市つづら町山崎チカ▽娯楽施設利用税関係＝平市田町林命、勿来市植田塚田キヨ子▽軽油引取税関係内郷市立町横山徳男、常磐市水野谷木山茂彦、磐城市柴町渡辺文彦、納税協力者＝坂本智子（磐城信用組合）山本スサ子（四倉商工会）平市二丁目信用金庫納税功労者＝常磐市湯本大沢國蔵、三河勝。

新築祝い盛大に

折戸の根渡神社お祭り

磐城市大平中之作字折戸地区では市内のトップを切つて七日、根渡神社の大祭を行つた。この神社は中之作港を一えんとする根渡山に承安元年（約八百年前）に鎮座以後改築されたのが元禄六年（約三百年前）で（棟板に記載されている）三回の改築補修が大正三年、今回は昨年十二月から平市宮師後藤雄仙氏が当り五百万円で新築され、

（写真は竣工した根渡神社）

これを記念した祭典でもある。当日は磐城市三民市長も列席、北洋漁業出航の祭典をした。なお延設委員長は和田七郎、委員は吉田伝兵、安藤清兵、竹永勝吉田勇雄氏外二十名、平田納税会社から十万円寄贈もあつた。

毛糸

'61　毛糸

各種豊富取揃え

ハシモトヤ糸店　平市銀座　TEL4315・4316

新役員など決る

県旅館組合の総会

県旅館環境衛生同業組合第三回総会は七日常磐市の湯本公民館で開き、事業として①築会の地位向上②料理、飲食消費税の軽減③事業税、固定資産税、不動産取得税の減免の徴収④観光金融⑤旅館の強化⑥料理、飲食消費税の減免⑦旅館労働の特異性から労働時間、最低賃金、退職金積立制度、健康保険の適用対策⑧過当競争対策の樹立などを決め、役員を次のとおり改選した。

▼理事長＝鈴木源右エ門（福島金湯）▼副理事長＝池田広治（飯坂、池田屋）豊田英孝（四倉海気館）佐藤武夫（東田、不動島、勝善）熊田猛夫（白河、久下田屋）▼会長　斉藤光政▼副会長　武田金二、色川文子▼会計　関内一郎、山辺京子▼監査　坂本行蔵、竹田三郎。

人権相談数グンと増す

法務局平支局でまとめた今年度の相談件数は六十件で前年度より上回つており、同局では人権週間中にあたるおりから、相談件数が増えるので係員はてんてこ舞をしている。この中には人権に関する事件が四件と家庭不和など相談が五十六件になつている。人件事件としては店の預掛金を支払わない人の氏名を店内に張り出すところがあり、張り出された人は市内のどこの店に行つても売つてくれない

海上で閲艇式など

保安庁13周年の行事

磐城市の小名浜港上保安部では海上保安庁開庁十三周年記念日に当る十一日、日本水産製造会県支部、海上保安協会県支部と共催で閲艇式、救難総合訓練、優良救難所員の表彰式などを行う。当日は午前十一時小名浜港外で統監艇、磐栄丸に閲艇官、高橋海上保安部長が乗船、巡視船くま、さがみ、あきさくらの三艇を閲艇したあと、あきさくらから火災発生想定のもとに消火、負傷者救助訓練を実施、午後二時半から二万トン埠頭で優良救難所員の表彰を行う。

東京県人会で常磐視察

東京福祉県人会（会長堀切智次郎氏）では常磐地方の旅館施設と史跡を視察するため第五回母県訪問を行うことになった。

日程は二十七、二十八日で第一日恋しさから母親のいたい家男君を誘つてできる四日三郎さん方を飛出し所持金百四十円を持ち船橋から岡崎へ無賃旅行の途中保護された。

少年ドロ捕る

母をたずねて家出

内郷署は八日内郷市高坂町生れ靴製造工少年（ことを盗みの疑いで捕まえた。調べによると少年は十五日ごろ後一時ごろ内郷高校重量挙部室で同部員三年生根本光男君（ことも五名から腕時計五コ（九千二千円相当）を盗んだため。

一少年保護さる

内郷署では八日内郷市高坂町生れ靴製造工少年（ことを盗みの疑いで捕まえ、中に母自分の子供を学校にあげず、盗みを働かす親もいるなど児童福祉週間中に考えさせられる点が多かつた。

大谷石

上平井　平市　TEL0266

さいころ奉行

遠山金さんの明朗捕物

磐城市の小名浜港上保安部では海上保安庁開庁十三周年記念日に当る十一日、日本水産製造会県支部、海上保安協会県支部と共催で閲艇式、救難総合訓練、優良救難所員の表彰式などを行う。当日は午前十一時小名浜港外で統監艇、磐栄丸に閲艇官、高橋海上保安部長が乗船、巡視船くま、さがみ、あきさくらの三艇を閲艇したあと、あきさくらから火災発生想定のもとに消火、負傷者救助訓練を実施、午後二時半から二万トン埠頭で優良救難所員の表彰を行う。

ふしが自慢の鬼唐屋好きで、鬼金という名前も、遠山金四郎と名のつた試士との唐唐に勝つて取り上げ、その上に鬼の一字をつけたものという。金さんと鬼金が乗り込んだ桑名から浜松へ向う三十石船に、三流斉大家という闇師が乗り合わせていて、江戸に流れる、世直し党と称する浪人群の不穏な動きを視察調査を語る。

この世直し党というのは、世相を揺動させるために伝馬町牢屋を襲つて囚人たちを脱獄させたりしてかず、不逞浪人の集まりで、西丸老中阿部木綿後守が黒幕と目され、密修禁止令を発布した天保水野越前守の改策に対する反対勢力であつた。

金さんの関心は、大家の熱弁よりも、乗り合客の一人の浪人風の男大源弦之亟の怪しい挙動にあり、跡を視察するため第五回母県訪問を行うことになつた。

金さんの八百松殺しは、おらんや新参女中お新の入浴をのぞき見したり、お新の入浴中に、ばくちの金盗まれ、私は嘘は申しません

（常磐市）

◉湯本座　おしろい読法　九日迄

海上旅の途に泣け　花の一本背負　九日迄

◉三園座　一本刀乙女人　敵色・手袋　番頭さんと手確どん　九日迄

◉常磐座　赤鬼剣士　黄金孔雀城　九日迄

◉小名浜劇場　用心棒稼業　九日迄

◉平劇場　東京のお転婆娘　親馬車は行く　九日迄

◉東映劇場　黄金孔雀城　九日迄

◉大映　月形半太　九日迄

◉日活　若い明日を奪つて走れ　緋馬八天狗　九日迄

◉民劇　若い娘たち　別れて生きるときも　七人の敵あり　九日迄

◉ト松竹　水滸伝　女鞘　九日迄

◉中劇　無鉄砲人間　用心棒稼業　九日迄

◉常磐劇場　黄金孔雀城　九日迄

◉東宝　十五日迄

◉聚楽座　愛のトンネル　十五日迄

◉ロイヤル　バターフィールド8　十五日迄

◉ロイヤル　ゴライアス　勝ち高き海兵隊　十五日迄

◉ロイヤル　悲しき60才　十五日迄

◉ひかり劇場　おけさ唄えば　十三日迄

◉中劇　おけさ唄えば　十三日迄

◉東宝　十三日迄

賞金をそつくりと寄付

磐城市山神北国本木姫さん（四）はさきごろ磐城警察から防犯協力者として表彰された際の金一封をそつくり、防犯に役だてて下さいと寄付した。

函エニュース

洋酒の頒布会会員募集　平市南町小松酒店、四丁目丸伊酒店ではモロソフ洋酒セット頒布会会員募集を行つている。会費テラックスコース千円一ミニチュアコース五百円で申込み期間は今月中となつている。

目は勿来関―高柴ダム―かすみ上火力発電所―クレハ化学―白水阿弥陀堂―湯本温泉（泊）二日目は磐城炭鉱―日本水素―小名浜港―塩屋崎灯台―弁財天を見学して上京する。

映画

絶賛続映

監督・森一生

記念の贈りものは
誠光堂の
トメユ　ケガビ　イネワ
萬年筆を……
（眼鏡部新設）
平銀座　誠光堂　TEL3496

文具のナガノ
軽オートバイ外
カメラ・世金
草野質店
平市銀治町
電一〇八八

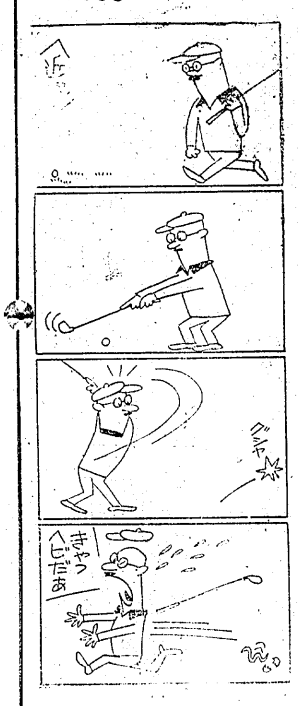
優雅な雰囲気で
楽しさを一そう味わえます
◆ご予算は如何ようにもご相談に応じます
家庭的待遇の
旅館　よし川

NHK第1【今晩】ラジオ福島

6.05 アルタイをこえて	6.00 ジヤジヤ馬くん
30 1丁目1番地	30 フクちやん
7.15 ニュースハイライト	7.15 お笑い千両箱
30 酒の泉	30 そのうそホント
8.00 民謡名所めぐり	8.00 演歌名人クラブ
30 母と子の闘い	30 人気投票歌のベストテン
9.10 ニュース解説	9.00 虹の星座
25 芸能ホール	45 愛の渦潮
10.10 この子らに光を	10.05 連続浪曲
30 科学千一夜	30 ジユークボツクス
11.10 連休明け国会の焦点	11.05 宮本武蔵
30 外交座談	50 お休みの前に

【明朝】

5.05 聴取者だより	5.00 今日も元気で
42 経営のしおり	45 農家の皆さんへ
6.27 朝の小鳥	
40 自然と人生	6.10 今日もロビンで
	35 スーパーメロディー
7.15 県民の時間	7.10 名曲カレンダー
40 朝の訪問	30 ねナイショだよ
8.05 おはよう奥さん	8.05 お早ようダークダツクス
30 昔の日記	
9.05 主婦日記	30 トースト冗談
30 たけのこ料理	9.00 勇気な山彦さん

NHK【今晩】テレビ

6.00 おんがく特急列車	8.00 歌は生きている
30 みんなのうた	30 お笑い三人組
7.15 バス通り裏	9.00 事件記者
30 ジエスチヤー	30 今日のニュース